８　本時の計画

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動指導上の留意点	評価の観点
5 分	1. Warm-up ・英問英答	・JTE、ALT との挨拶 日常会話 ・ペアになり仮定法を用いた英問英答	・日常会話で英語を使う雰囲気を作る ・日常会話に仮定法を交え、本時の学習内容に意識を向けさせる ・様々な答えに耳を傾け、数ペアに発表させる	① ② 観察およびワークシート
7 分	２．導入	・ペアになり仮定法の英文の正誤確認 ・間違いがある場合はペアで理由を確認し訂正	・生徒が間違いを確実に把握しているかチェックする ・解答確認の際は全体に挙手させて正答率の確認をする	① ③ 観察およびワークシート
20 分	３．表現活動 ・グループ活動	・仮定法を用いてグループで “The Funniest Story Competition” のための英文原稿を作成（一人一文を基本に） ・正しい英文になっているかグループで確認 ・グループの英文原稿を模造紙に記入し教室に掲示 ・各グループの代表が順番に模造紙の前で全体に向けて作品を発表する	・“ The Funniest Story Competition”のルールを説明、明示する ・既習の文法事項である仮定法を運用する際、形式を忘れた生徒には教科書で確認させる ・面白い物語になるようにグループ内で意見を積極的に出し合うように促す ・行き詰まったグループにはヒントカードを引かせる ・文法・スペルミスがないかグループ内で確認させる	① ② ③ ④ 活動の観察および作品の掲示
13 分	４．評価活動	・他グループの英文原稿を読み、間違っている箇所を見つけてマーカーで訂正 ・ALT による、文法やスペルミスの確認と採点 ・JTE、ALT、生徒による、The Funniest Story への投票と優秀作品の選出 ・優勝作品の音読	・他グループの間違い探しは早いもの順にし、グループ内で協力して間違いを探すように促す ・ALT による訂正で、おかし易い間違いに気づかせる	① ③ 活動の観察および JTE、ALT、生徒による採点
5 分	５．まとめ	・ALT による、英文作成時のよくある間違いの確認 ・仮定法の用法の確認	・模造紙に書かれた英文原稿とその訂正箇所を確認し今後に繋げさせる	② ④ 作品内容の確認